

## グリーンエネルギーCO2削減等計画書

## 1 グリーンエネルギーCO2削減計画

## 1. 1 グリーンエネルギーCO2削減計画の名称

バイオガスを利用した発電による CO2 排出削減

## 1. 2 グリーンエネルギーCO2削減計画に関わる設備（詳細）

別紙1「本計画におけるグリーンエネルギーCO2削減事業リスト」1. 参照。

## 1. 3 グリーンエネルギーCO2削減計画に適用される方法論

注1) 本計画に適用される方法論にチェックすること。

チェック	種別方法論番号	種別方法論名称
<input type="checkbox"/>	P001	風力発電
<input type="checkbox"/>	P002	太陽光発電
<input type="checkbox"/>	P003-1	バイオマス発電（鶏糞、バガス等）
<input checked="" type="checkbox"/>	P003-2	バイオガス発電
<input type="checkbox"/>	P003-3	木質バイオマス発電
<input type="checkbox"/>	P004-1	河川に設置する新設水力発電
<input type="checkbox"/>	P004-2	既設設備等に付加して設置される水力発電
<input type="checkbox"/>	P005	地熱発電

## 1. 4 方法論で定める要件への適合性

別紙2「グリーン電力要件チェックリスト」参照。

## 1. 5 グリーンエネルギーCO2削減相当量の算定

注1) 「グリーン電力種別方法論」の4. グリーンエネルギーCO2削減相当量の算定方法を記載すること。

$$E_{BC} = E_{BG} - E_{BS} - E_{BA}$$

$$S_B = F_B \div F_T$$

$$E_{MB} = (E_{BS} + E_{BC}) \times S_B \times CEF_{electricity,t}$$

記号	定義	単位
E <sub>BS</sub>	バイオガス発電実施期間における系統への販売電力量	kWh
E <sub>BC</sub>	バイオガス発電実施期間における自家消費電力量	kWh
E <sub>BG</sub>	バイオガス発電実施期間における発電発電電力量	kWh
E <sub>BA</sub>	バイオガス発電実施期間における発電補機消費電力量	kWh
S <sub>B</sub>	投入燃料に占めるバイオマス比率	%

$F_B$	発電に使用したバイオガス燃料	MJ
$F_T$	発電に使用した燃料合計	MJ
$E_{MB}$	バイオガス発電実施期間における排出削減量	kgCO <sub>2</sub>
$CEF_{electricity,t}$	バイオガス発電実施期間における電力の二酸化炭素排出係数	kgCO <sub>2</sub> /kWh

1. 6 国内クレジット制度及びオフセットクレジット（J-VER）制度への申請又は登録の有無

申請中（未登録）	<input type="checkbox"/>	登録	<input type="checkbox"/>	申請・登録なし	<input checked="" type="checkbox"/>
----------	--------------------------	----	--------------------------	---------	-------------------------------------

注 1) 「申請中（未登録）」又は「登録」のどちらかを選択した場合はどのようにして重複を排除するのかを記載すること。

1. 7 本計画の始期及び終期

始期：平成 26 年 1 月 1 日

終期：平成 26 年 3 月 31 日

## 2 グリーンエネルギー運営・管理計画

### 2. 1 各グリーンエネルギーCO<sub>2</sub>削減事業の実施者によるモニタリング方法及び報告方法

注 1) 各グリーンエネルギーCO<sub>2</sub>削減事業の実施者におけるモニタリング方法、及び当該実施者から運営・管理者への報告方法（体制）を記載すること。

注 2) 各グリーンエネルギーCO<sub>2</sub>削減事業のモニタリング責任者及び実施者については別紙1「本計画におけるグリーンエネルギーCO<sub>2</sub>削減事業リスト」4. 参照。

#### （1） グリーンエネルギーCO<sub>2</sub>削減事業実施者（発電事業者）

【1】 毎月末または毎四半期末において、モニタリング実施者およびモニタリング責任者にて、日報・月報・メーター写真・検針票・その他関連資料など、グリーン電力発電電力量を算出するため必要となる資料を作成する。

【2】 每月初めまたは毎四半期初めにおいて、メール・FAX・郵送などにより、グリーンエネルギーCO<sub>2</sub>削減事業実施者より運営・管理者へ報告する。

#### （2） 運営・管理者（証書発行事業者：日本自然エネルギー（株））

【1】 グリーンエネルギーCO<sub>2</sub>削減事業実施者から受領したデータをもとに、各四半期のグリーン電力発電電力量を算出する。

【2】 算出したグリーン電力発電電力量について、検証機関による検証終了後、グリーンエネルギーCO<sub>2</sub>削減相当量認証委員会事務局へ報告する。

なお、グリーン電力発電電力量の計量体制を様式1－2別紙添付に示す。

### 2. 2 モニタリングの対象及び方法

注 1) 「グリーン電力種別方法論」の5. 算定根拠に係るモニタリング方法に掲げられている記号と、それに係る定義、単位、モニタリング方法を記載すること。

ング方法例を下表に示す。

記号	定義	モニタリング方法
E <sub>B5</sub>	バイオガス発電実施期間における系統への販売電力量	検定済み電力計による計測、RPS 減量届出書
E <sub>BG</sub>	バイオガス発電実施期間におけるバイオマス発電発電電力量	検定済み電力計による計測
E <sub>BA</sub>	バイオガス発電実施期間におけるバイオガス発電補機消費電力量	電力計による計測又は補機容量に稼働時間を感じた値
F <sub>B</sub>	発電に使用したバイオガス	燃料計による計測又は燃料供給会社からの請求書をもとに算定
F <sub>T</sub>	発電に使用した燃料合計	燃料計による計測又は燃料供給会社からの請求書をもとに算定
CEF <sub>electricity,t</sub>	バイオガス発電実施期間における電力の二酸化炭素排出係数	デフォルト値を利用 CEF <sub>electricity,t</sub> = C <sub>mo</sub> · (1·f(t)) + C <sub>a</sub> (t) · f(t) ここで、 t : 事業開始日以降の経過年

$C_{mo}$ : 限界電源二酸化炭素排出係数
$C_a(t)$ : t年に対応する全電源二酸化炭素排出係数
$f(t)$ : 移行関数
$f(t) = \begin{cases} 0 & [0 \leq t < 1\text{年}] \\ 0.5 & [1\text{年} \leq t < 2.5\text{年}] \\ 1 & [2.5\text{年} \leq t] \end{cases}$

(上記モニタリング方法による提出書類は様式1－2別紙添付の通り)

### 3 グリーンエネルギーCO2削減相当量配分計画

#### 3. 1 グリーンエネルギーCO2削減相当量保有予定者に関する情報

別紙3「グリーンエネルギーCO2削減相当量配分計画」1. 参照。

#### 3. 2 環境価値が除かれた電気価値・熱価値の帰属先に関する情報

別紙3「グリーンエネルギーCO2削減相当量配分計画」2. 参照。



グリーン電力要件チェックリスト  
 (対象設備名称:町村農場バイオマス発電設備)

グリーンエネルギーCO2削減相当量認証委員会 御中

(住所) 東京都品川区大崎五丁目1番11号

住友生命五反田ビル11F

(名称) 日本自然エネルギー株式会社

(代表者役職) 代表取締役社長

寺腰 優 

申請中の「グリーンエネルギーCO2削減計画認定申請書」(排出削減事業の名称:バイオガスを利用した発電によるCO2排出削減)については、以下のとおりグリーンエネルギーCO2削減相当量認証制度運営規則 グリーンエネルギーCO2削減相当量算定方法論3. 1 (2)に定めるグリーン電力の要件に適合していることを証明します。

項目	基準の概要	適合説明	関係法令表での該当番号・備考
2-3-1 発電方式	以下の条件を全て満たす再生可能エネルギーによるものとする。 (1) 化石燃料・原子力による発電でないこと (2) 温室効果ガス、および硫黄・窒素酸化物等有害ガスの排出がゼロまたは著しく少ないとこと	グリーン電力発電方式(c)バイオマス発電 家畜糞尿のメタンガス化によるバイオガス発電である。 追加的な温室効果ガスの排出はない。有害ガスの排出は著しく少ない。	
2-3-2 発電電力量	電力量の測定が的確に行われており、かつ以下のいずれかに該当するものとする。	検定済み電力量計が取り付けられており、補機が除かれた発電電力量を的確に測定できる。所内消	資料1: 認証可能電力量確認方法について

	(1) 電力系統に供給されている (2) 補機類での消費を除く所内消費	費を対象とし、「認証可能電力量の確認方法」による計算とし、左記（2）に該当する。	
2-3-3 追加性要件	グリーン電力の取引によって設置、もしくは維持されて発電しているもの。またはグリーン電力の取引が他設備のグリーン電力拡大に貢献しているもの	グリーン電力の取引行為は、本設備の建設およびその後の運営に関するコスト負担について、有意な貢献を行うことが期待される。 また、本件のグリーン電力取引行為は、電力の自家消費分が対象であり、RPS法の対象とならない。※要件（1）、（2）に該当する。	
2-3-4 環境価値の帰属	認証されたグリーン電力の価値がグリーン電力価値の購入者たる顧客に帰属することを示さなければならない。	電気以外の価値がグリーン電力の購入者たる顧客に帰属することを、発電者と弊社（日本自然エネルギー㈱）で契約上担保している。	
2-3-5 環境の影響評価	生態系、環境等への影響について適切な評価・対策を行っていること。また以下の内容について検証機関に報告をしていること。  (1) 環境への影響評価 (2) 個別の発電方式ごとに検証機関が定める環境モニタリング	本件バイオマス発電設備は、市街地と区別された農業地域に設置されており、これによる周辺環境に対する環境の問題は生じていない。	
2-3-6 社会的合意	立地に対する関係者との合意に達していることとし、その内容について認証センターに報告をしなければならない。	本件バイオマス発電設備設置により悪臭発生が防止され環境改善につながったと、隣家からも高い評価を得ている。	
2-3-7 情報の公開	(1) グリーンエネルギーCO2削減相当量認証委員会に提出された資料は、公表されることを了承する。 <sup>*1</sup>  (2) 顧客に対して、グリーン電力に関する十分な情報が開示されていることとし、その開示状況を検証機関に報告する。	了承します。	

\*1…個人情報等の理由により非公開扱いとする場合は資料にその旨を明記すること。

関係法令表

番号	関係法令等※2	手続き状況※3	備考
1	家畜排泄物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律	設備基準、管理基準を満足している	
2	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	該当しない (当該施設は自家発生分のみの処理が目的)	
3	電気事業法	該当しない(出力 1,000kW 以下のため)	
4	電力会社との系統連系協議及び電力受給契約	北海道電力への系統連系申し込み(H11.11) 余剰購入メニューでの契約(H13.8) RPS メニューでの契約(H15.4)	
5	エネルギーの使用の合理化に関する法律	該当しない	
6	国土利用計画法	農業地域に指定	
7	騒音規制法	該当しない	
8	振動規制法	該当しない	
9	労働安全衛生法	該当しない	
10	建築基準法	該当しない	
11	消防法	設備改善により対応	
12	高圧ガス保安法	該当しない	
13	熱供給事業法	該当しない	
14	農地法	該当しない	
15	都市計画法	該当しない	
16	大気汚染防止法	該当しない	
17	悪臭防止法	該当しない	
18	水質汚濁防止法	該当しない	
19	肥料取締法	該当しない	

**その他（景観条例・地元との協議等）**

バイオマス発電所建設工事の説明会	実施していない	
地域住民の意見	地元テレビの放映ビデオあり	
メタンガスの漏洩の有無	トラブル発生時に許容貯留量を超える場合は、余剰となるメタンガスなどの温室効果ガスを気中放出することがある。	

※2…記載する内容等については追加要件を参照のこと。

※3…可能ならば申請書類の受理番号や時期等について記入のこと。

**その他（検定済計量器の設置について）**

設置の有無	有の場合 <sup>※4</sup>	無の場合 <sup>※5</sup>	備考
有	有効期限：平成30年4月	設置予定期限： 年 月	資料2：検定メーター写真

※4…設置済みの場合は、単線結線図に明示し、検定マーク（有効期限）を含んだ計量器の写真を添付すること。

※5…設備認定後に検定済計量器へ変更する場合は、検定済計量器による電力量の測定を開始した時点からのグリーン電力量認証の対象とする。

**その他（補助金等の公的助成について）**

助成の有無	有の場合 <sup>※6</sup>		
	助成機関の名称	補助金等の名称	補助率（%）
有・無	無し	無し	無し

※6…複数の助成を受けている場合には、それぞれに分けて記載すること。

## グリーンエネルギーCO2削減相当量配分計画

## 検証結果報告書

平成 25 年 12 月 / 3 日

日本自然エネルギー株式会社  
代表取締役社長 寺腰 優 殿

(住所) 東京都中央区勝どき 1・13・1

イヌイビル・カチドキ

(名称) 財団法人日本エネルギー経済研究所  
(グリーンエネルギー認証センター)



理事長 豊田 正和



財団法人日本エネルギー経済研究所（グリーンエネルギー認証センター）は、日本自然エネルギー株式会社が作成した「グリーンエネルギーCO<sub>2</sub>削減計画認定申請書」（排出削減事業の名称：バイオガスを利用した発電による CO<sub>2</sub> 排出削減）の追加申請分について、「グリーンエネルギーCO<sub>2</sub> 削減相当量認証制度運営規則」に基づいて独立の立場から検証を行った結果、別添「検証結果概要書」のとおり、全ての点において適正であると認めます。

# 検証結果概要書（今回追加分）

財団法人日本エネルギー経済研究所  
(グリーンエネルギー認証センター)

## 1. グリーンエネルギーCO2削減計画の概要

グリーンエネルギーCO2削減計画名	バイオガスを利用した発電によるCO2排出削減
グリーンエネルギーCO2削減計画申請者名	日本自然エネルギー株式会社
事業実施場所	⑥北海道江別市篠津 183
事業の概要	⑥町村農場バイオマス発電設備
グリーンエネルギーCO2削減相当量の計画	「グリーンエネルギーCO2削減相当量配分計画」によると、 計画段階では保有予定者名は全て未定
事業期間	計画認定日～平成26年3月31日
方法論	$E_{BC} = E_{BG} - E_{BS} - E_{BA}$ $S_B = F_B \div F_T$ $E_{MB} = (E_{BS} + E_{BC}) \times S_B \times CEF_{electricity,t}$

## 2. 検証結果

⑥町村農場バイオマス発電設備

- 初回のグリーンエネルギーCO2削減計画。
- 本事業のグリーン電力発電設備認定日は、平成15年11月14日、認定番号03B001  
(平成15年度第3回グリーン電力認証機構委員会(現:グリーンエネルギー認証センター)  
において審議され、一旦仮承認の後、平成15年度第4回グリーン電力認証機構委員会にて  
最終確認に至った)。
- 過去のグリーン電力量認証実績は、計30回(H25.12現在)。特段問題なく承認。
- 変更申請は過去1回。発電機(30kW)を増設の上、売電電力量の計量設置により、介する  
変圧器が2つから1つになったため、変圧器ロス率を変更したもの。H21.9.2承認。
- このたび、グリーン電力設備認定申請時の審査資料を確認し、今回提出されている「グリー  
ン電力要件チェックリスト」にグリーン電力発電設備認定時の審査内容が反映されているこ  
とを確認。

上記ならびに以下に示す実施した検証手続の概要のとおり、本申請に基づく、グリーンエネルギーCO2削減計画がグリーンエネルギーCO2削減相当量認証制度運営規則に定める要件および方法論に適合しているものと判断できる。

### 3. 実施した検証手続の概要

#### ⑥町村農場バイオマス発電設備

事業が日本国内で実施されること	事業リスト（様式1-2別紙1）に記載の発電所所在地およびグリーン電力設備認定申請時の電力会社との配電線系統連係協定書等に記載された住所により国内実施を確認、また、自家発電設備による自家消費分であることは、「単線結線図」により確認
方法論で定める要件を満たすグリーンエネルギーで構成されていること	「グリーンエネルギーCO2削減相当量算定方法論」のグリーン電力の要件ならびに「グリーン電力種別方法論（P003-2バイオガス発電）」の適用条件全てを満たすことを「グリーン電力の要件を満たすことを示す誓約書及びグリーン電力要件チェックリスト（様式1-2別紙2）」の内容により確認。
方法論に基づいて実施されること	「グリーンエネルギーCO2削減等計画書（様式1-2）」に記載されている「グリーンエネルギー運営・管理計画」の2.2のモニタリング方法の記載内容が方法論に基づいていることを「グリーン電力種別方法論（P003-2バイオガス発電）」にて確認。 ※F <sub>B</sub> （バイオガス燃料）の算定について、メタン発熱量係数については、設備認定時提出のデータである8,600kcal/m <sup>3</sup> を使用。
計画に掲げられた全てのグリーンエネルギーCO2削減事業が、国内クレジット制度及びオフセット・クレジット（J-VER）制度に登録されていないこと	計画に掲げられた全てのグリーンエネルギーCO2削減事業は、「グリーンエネルギーCO2削減等計画書（様式1-2）」に記載されている「国内クレジット制度及びオフセットクレジット（J-VER）制度への申請又は登録の有無」が「申請・登録なし」となっていることを確認。
グリーンエネルギーCO2削減計画に基づく事業を実施する者との合意に基づいて、適切に運営・管理がなされるものであること	グリーンエネルギーCO2削減計画における事業を実施する者との合意に基づく適切な運営・管理については、「グリーンエネルギーCO2削減等計画書（様式1-2）」に記載されている「グリーンエネルギー運営・管理計画」の2.1-(2)により、運営・管理者が日本自然エネルギー㈱であることを確認し、別添資料（計量体制（電力量の計量の管理体制：様式1-2別紙1添付））に記載されている内容から発電事業者との合意に基づいた適切な運営・管理がなされるものと判断できる。
グリーンエネルギーCO2削減計画に基づく事業の適切かつ円滑な実施のために必要となる情報を、記録・管理することとされていること	グリーンエネルギーCO2削減計画に基づく事業の適切かつ円滑な実施のために必要となる情報を、記録・管理については、「グリーンエネルギーCO2削減等計画書（様式1-2）」に記載されている「グリーンエネルギー運営・管理計画」の2.1-(1)により、発電事業者が毎月末または毎四半期末において日報・月報・メーター写真・検針票・その他関連資料などを作成し、毎月初めまたは毎四半期初めに申請者である日本自然エネルギー㈱へ報告されることを確認。また管理体制についても、別添資料（計量体制（電力量の計量の管理体制：様式1-2別紙1添付））のもと適切に管理されるものと判断できる。

上記の記録・管理方法及び体制を示す文書（グリーンエネルギー運営・管理計画）が作成されていること	上記の記録・管理方法及び体制を示す文書は、「グリーンエネルギーCO2削減等計画書（様式1-2）」に記載されている「グリーンエネルギー運営・管理計画」の記載内容および別添資料（計量体制（電力量の計量の管理体制：様式1-2別紙1添付））のとおり作成されていることを確認。
グリーンエネルギーCO2削減計画に基づく事業より生じるグリーンエネルギーCO2削減相当量の配分予定先を示す文書（グリーンエネルギーCO2削減相当量配分計画）が作成されていること	グリーンエネルギーCO2削減計画に基づく事業より生じるグリーンエネルギーCO2削減相当量の配分予定先については、「グリーンエネルギーCO2削減相当量配分計画（様式1-2別紙3）」の記載内容により確認。

(添付資料)

● 3. の各項目の根拠資料

- 1) グリーンエネルギーCO2削減計画認定申請書（様式1-1）※発電種別共通
- 2) グリーンエネルギーCO2削減等計画書（様式1-2）
- 3) 事業リスト（様式1-2別紙1）
- 4) グリーン電力要件チェックリスト（様式1-2別紙2）
- 5) グリーンエネルギーCO2削減相当量配分計画（様式1-2別紙3）
- 6) 計量体制（様式1-2別紙1添付の項目1）
- 7) モニタリング方法および提出書類（様式1-2別紙1添付の項目2）
- 8) グリーン電力設備認定申請・変更申請時に提出された申請書